

モンゴル語専攻

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得してモンゴルの異文化の多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。



モンゴルの住居、ゲル

モンゴル語は、チュルク語（広義のトルコ語）、満洲・ツングース語と共にいわゆるアルタイ語族を形成します。印欧語のような屈折の特徴は少なく膠着性に富んでいます。語構成は語幹+接尾辞からなります。語順は、主語+目的語+動詞の順であり日本語と同じタイプです。

モンゴル文字で記された最古の資料は、いわゆるチンギス・ハーン碑文であり西暦1225年頃にさかのぼります。チンギス・ハーン以来のこの文字は、現在でも内モンゴルを中心とする中国の諸地方で使用されています。モンゴル国（旧モンゴル人民共和国）では、1940年代に文字改革に踏み切り、このモンゴル文字よりキリル（ロシア）文字に切り換え、新たに正書法が定められ、今日に至っています。

前期課程（1年・2年）では、モンゴル語実習が各学年それぞれ5教科、必修科目として課せられます。L.L. 授業を含む実習によりモンゴル語の運用能力をこの前期課程でしっかりと身につけなければなりません。もちろん、モンゴル人教師による授業も各学年、必修教科として設けられています。後期課程になりますと、語学、文学、文化等の分野別の講義・演習等が設けられ各人の専門としようとする分野を中心とした教科を選択し演習に参加し、最終学年には、卒業論文を提出しなければなりません。

近年、モンゴルと日本との関係も密になってきました。日本からモンゴルへ、そしてモンゴルから日本へと留学生の往来が軌道に乗ってきています。

卒業者の就職は、概して良好ですし、その分野も商社、運輸、報道、出版関係、公務員、教員、外交官等々と多岐にわたっており、最近ではモンゴル語を生かして就職する人も出てきました。また、更にモンゴル学に志を持ち、大学院へ進学する人もいます。モンゴル語、モンゴル、モンゴル民族の文化に深い関心を持った意欲的な学生諸君を歓迎します。



モンゴル相撲



仏教寺院ガンダン

「サイン バイノー」



学生の声



2年 松村 郁弥

サインバイノー！（こんにちは！）初めまして！モンゴル語専攻の松村です。突然ですが、ここを読まれている方の中にこういう考えをお持ちの方はいませんか？「モンゴルって、草原があって遊牧してて…えっと、相撲でしょ？」そうです、確かにその通りの部分もあります。しかし、それはモンゴルのほんの一部でしかありません。

私自身モンゴル語専攻に進学するまではそんな考えを持っていました。ですが、モンゴル語の授業やホームステイ、モンゴルからの留学生との会話の中で、それまでは見えていなかったモンゴルの新たな一面を発見できています。そして、その新たな一面に感心したり、圧倒されたりすることがよくあります。

具体的にその新たな一面の説明をしたいのですが、文字数が許してくれないので、皆さんが進学してから知っていてももらいたいです。ただ、上のような考えは本当にモンゴルの一部分でしかないということは覚えていてほしいです。

そういったことも含め、モンゴル語を学んでいるとたくさんの想像を超える発見があり、その発見を自分で実際に行き行って体感できる国でもあります。そしてその経験は一生忘れることのできないものになると思います。

まだまだ皆さんに伝えたいことは山ほどあるのですが、やはり自分の五感を使って学ばれるのが一番だと思います。モンゴルに興味のある方はもちろん、なにか言語を学びたいと思っている方、ぜひモンゴル語にトライしてみてください。



留学体験記



4年 山本 賀保子

最近モンゴルという名前を聞く機会が増えてきました。スポーツや政治など様々な分野で関係を築いている国です。モンゴル語専攻では、そんなモンゴルの言葉や文化について学んでいます。

1年生で文字や基本的な文法を身に付け、2年生では加えてモンゴルに関する文章や物語を読み始めます。3年生以降では、言語・文学・社会・文化などの中から興味のある分野の選択が自由です。授業の中では、教材を通してモンゴル人留学生とも接する機会があるため、語学の習得のみならず、色々な角度からモンゴルを知ることができます。

また夏休みにはモンゴルを訪れる学生もいます。実際にモンゴルの土地で現地の人と関わることで、生活の中にある「モンゴル」を発見することができます。特に遊牧のような日本にはない文化により、これまでと違った価値観が得られるかもしれません。

そして私自身は現在、フランス・ニースに滞在しています。専攻語のモンゴル語や英語でないフランス語の留学をすることに不安はありましたが、『たくさんの人と関わり、ありのままの言葉で理解できるようになりたい』という目標と、フランスの日本とは遠く離れた文化への興味のために留学を決意しました。

言葉もわからず、家族や友達のいない状況に戸惑うこともありましたが、今までと違った環境に身を置き語学の勉強をしている中で、新しい価値観や文化に出会うことができました。留学生活で体験できたことはすべてキラキラとしています。専攻語に対する姿勢や将来なりたいたい自分についても改めて考えることができたと思います。

外国語から得られるものは、きっと語学力だけではありません。言葉を用いて積極的に人と関わることで、考え方を多様にすることができます。自分自身を豊かで活きたものしてくれるはず。特にモンゴル語が勉強できるチャンスはめったにありません。モンゴル語専攻で学べることはきっと大学生活を更にオリジナルなものにしてくれると思います。春に皆さんと出会うこと、一緒に勉強ができることを心待ちにしています。

